

測量の日東北地区推進協

「測量の日東北地区事業推進団体協議会」は1日、も楽しめるプログラムを仙台市内の仙台市科学館で「第36回地図と測量のミニフェスタ」を開催した。3日の「測量の日」を記念したイベントで、会場には家族連れなど例年を上回る約470人が来場。トータルステーション(TS)を使ったクイズやGPS体験、地図測量設計業協会(宮測協)のミニフェスタは恒例のミニフェスタは測量や地図の意義や重要性に対する市民の理解と関心を深めることが目的。同協議会メンバーの国土地理院東北地方測量部と日本測量協会東北支部、県測量設計業協会(宮測協)、北杜学園仙台工科大学の4者がミニフェスタ実行委員会として連携してイベントを開催した。仙台市科学館が共催、仙台市中学校社会科研究会が後援した。

当日は▽地図記号クイズを出題する地図教室▽TSを使った測量ゲーム(TSシューティング)▽UAV練習機操縦体験▽GPSを使った地球一周の計測体験▽動物園・水族館を描くCAD操作体験

協、北杜学園仙台工科大学の4者がミニフェスタ実行委員会として連携してイベントを開催した。仙台市科学館が共催、仙台市中学校社会科研究会が後援した。



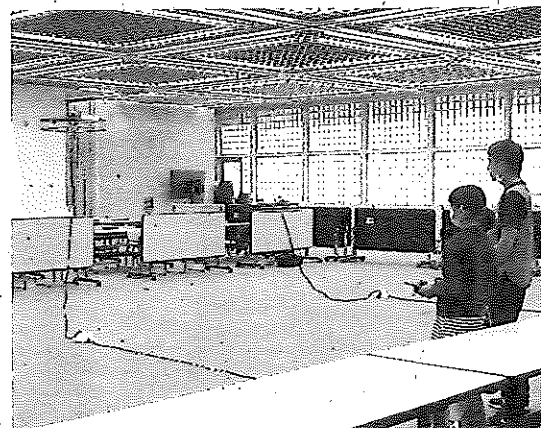
行列ができたTSシューティングのコナー

協、北杜学園仙台工科大学の4者がミニフェスタ実行委員会として連携してイベントを開催した。仙台市科学館が共催、仙台市中学校社会科研究会が後援した。

地図と測量に親しむ一日



地図教室の様子。地図記号クイズに子どもたちが積極的に答えていた



UAV練習機の体験では、操作のほか、振動や音も体験

ミニフェスタに470人来場

「測量の日東北地区事業推進団体協議会」は1日、も楽しめるプログラムを仙台市内の仙台市科学館で「第36回地図と測量のミニフェスタ」を開催した。3日の「測量の日」を記念したイベントで、会場には家族連れなど例年を上回る約470人が来場。トータルステーション(TS)を使ったクイズやGPS体験、地図測量設計業協会(宮測協)のミニフェスタは恒例のミニフェスタは測量や地図の意義や重要性に対する市民の理解と関心を深めることが目的。同協議会メンバーの国土地理院東北地方測量部と日本測量協会東北支部、県測量設計業協会(宮測協)、北杜学園仙台工科大学の4者がミニフェスタ実行委員会として連携してイベントを開催した。仙台市科学館が共催、仙台市中学校社会科研究会が後援した。

当日は▽地図記号クイズを出題する地図教室▽TSを使った測量ゲーム(TSシューティング)▽UAV練習機操縦体験▽GPSを使った地球一周の計測体験▽動物園・水族館を描くCAD操作体験

協、北杜学園仙台工科大学の4者がミニフェスタ実行委員会として連携してイベントを開催した。仙台市科学館が共催、仙台市中学校社会科研究会が後援した。

当日は▽地図記号クイズを出題する地図教室▽TSを使った測量ゲーム(TSシューティング)▽UAV練習機操縦体験▽GPSを使った地球一周の計測体験▽動物園・水族館を描くCAD操作体験

協、北杜学園仙台工科大学の4者がミニフェスタ実行委員会として連携してイベントを開催した。仙台市科学館が共催、仙台市中学校社会科研究会が後援した。

ど、操作が楽しかった」と目を輝かせていた。実行委員長を務める地理院東北地方測量部の星野秀和部長は「地図や測量はどちらも身近にあり、平時には便利な生活を下支えし、また防災のツールともなる。ミニフェスタを通して、ぜひ関心や理解を深めてもらいたい」と開催の意義を述べた。